第３章　予算（人件費の見積もりを含む）、収支計画及び資金計画

第１節　年度計画における目標設定の考え方

予算、収支計画、資金計画について、別表-1～3 のとおり計画し、これを適正に実施することとした。

第２節　令和６年度における取組

1　予　　算（別表-1 のとおり）
2　収支計画（別表-2 のとおり）
3　資金計画（別表-3 のとおり）

（1）予算

別表 - 1

（単位：百万円）

区　別	計画額(A)	実績額(B)	差額(B-A)	備　考
収入	9,579	12,885	3,306	
運営費交付金	8,747	11,047	2,300	運営費交付金【SIP】等があったことによる増。
施設整備費補助金	360	1,180	820	前年度からの繰越による増。
受託収入	326	473	147	受託研究等の依頼が予定を上回ったことによる増。
施設利用料等収入	146	115	△ 32	財産賃貸収入等が予定を下回ったことによる減。
寄附金収入	－	1	1	寄附があったことによる増。
その他事業収入	－	4	4	科学研究費補助金間接費収入等があったことによる増。
雑収入	－	66	66	還付消費税等があったことによる増。
支出	9,579	13,109	3,530	
業務経費	3,778	6,264	2,486	運営費交付金【SIP】等があったことによる増。
施設整備費	360	1,180	820	前年度からの繰越による増。
受託経費	280	520	239	受託研究等の依頼が予定を上回ったことによる増。
人件費	4,537	4,657	120	支給実績が予定を上回ったことによる増。
一般管理費	624	488	△ 136	執行実績が予定を下回ったことによる減。

（注）単位未満を四捨五入しているため合計が合わない場合がある。

（2）収支計画

別表 - 2

（単位：百万円）

区　別	計画額(A)	実績額(B)	差額(B-A)	備　考
費用の部	9,495	11,086	1,590	
経常費用	9,495	11,086	1,590	主に研究業務費が前年度から繰り越したことによる増。
研究業務費	7,073	8,716	1,643	前年度からの繰越による増。
受託業務費	280	431	150	受託研究等の依頼が予定を上回ったことによる増。
一般管理費	1,865	1,582	△ 284	主に一般管理費の執行実績が予定を下回ったことによる減。
減価償却費	277	356	80	運営費交付金等で取得した資産の減価償却費による増。
その他経常費用	－	1	1	主に過年度支出があったことによる増。
収益の部	9,491	11,455	1,964	
運営費交付金収益	8,747	9,583	836	前年度からの繰越による増。
施設利用料等収入	146	115	△ 32	財産賃貸収入等が予定を下回ったことによる減。
その他事業収入	－	5	5	科学研究費補助金間接費収入等があったことによる増。
受託収入	326	538	212	受託研究等の依頼が予定を上回ったことによる増。
施設費収益	－	407	407	預り施設費から施設費収益へ振り替えたことによる増。
寄附金収益	－	0	0	
資産見返負債戻入	273	357	85	運営費交付金等で取得した資産の減価償却費に係る資産見返負債戻入が予定を上回ったことによる増。
賞与引当金見返に係る収益	－	354	354	賞与引当金繰入に係る賞与引当金見返を計上したことによる増。
退職給付引当金見返に係る収益	－	37	37	退職給付費用に係る退職給付引当金見返を計上したことによる増。
その他収益	－	60	60	主に消費税の還付等があったことによる増。
臨時損失	－	1	1	主に減損損失の発生による増。
臨時利益	－	2	2	主に減損損失による資産見返負債戻入の計上による増。
純利益（△純損失）	△ 4	370	374	
前中長期目標期間繰越積立金取崩額	1	1	0	
総利益	△ 3	371	374	

（注）単位未満を四捨五入しているため合計が合わない場合がある。

（3）資金計画

別表 - 3

（単位：百万円）

区　別	計画額(A)	実績額(B)	差額(B-A)	備　考
資金支出	9,579	12,206	2,627	
業務活動による支出	9,219	11,095	1,877	運営費交付金【SIP】等があったことによる増。
投資活動による支出	360	1,110	750	前年度施設整備費の繰越による増。
財務活動による支出	－	0	0	
資金収入	9,579	12,275	2,696	
業務活動による収入	9,219	11,441	2,223	
運営費交付金による収入	8,747	11,047	2,300	運営費交付金【SIP】等があったことによる増。
施設利用料等収入	146	117	△ 29	財産賃貸収入等が予定を下回ったことによる減。
受託収入	326	248	△ 78	受託研究等の入金が予定を下回ったことによる減。
寄附金収入	－	1	1	寄附金があったことによる増。
その他の収入	－	29	29	主に科学研究費補助金預かり金収入があったことによる増。
投資活動による収入	360	834	473	
施設費による収入	360	826	466	前年度からの繰越による増。
その他の収入	－	8	8	主に敷金・保証金の返戻があったことによる増。
期首残高	－	6,303	6,303	前年度からの繰越金
期末残高	－	6,372	6,372	翌年度への繰越金

（注）単位未満を四捨五入しているため合計が合わない場合がある。

第 4 章　短期借入金の限度額

令和 6 年度は、法人にとっての予見し難い事故等の発生がなかったため、短期借入金を行わなかった。

第 5 章　不要財産の処分に関する計画

なし

第 6 章　重要な財産の処分等に関する計画

なし

第 7 章　剰余金の使途

令和 6 年度は、剰余金の金額などを勘案した結果、「研究開発及び研究基盤整備等目的積立金」の申請を行っていない。